

# 令和4年度学校自己評価システムシート（県立越生高等学校）

目指す学校像	生徒一人一人の長所を伸ばし、社会で活躍できる「人財」の育成を目指す学校
--------	-------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びによる基礎学力の充実と専門的な能力の向上
	2 豊かな心と自主的・自立的な態度の育成および進路意識の向上による進路希望の実現
	3 保護者や地域と連携した安心・安全な開かれた学校づくり

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	4名

学校自己評価					年度評価(1月26日現在)		
年度目標					年度評価(1月26日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学びの質の向上にICTの活用が効果を上げ、学習環境や授業規律に改善が見られたことにより、生徒の学習意欲の向上につながっている。</li> <li>PC委員会が設置され、運用マニュアルの作成やガイダンスの開催等、ICT活用と業務効率化に関する組織的・体系的なシステムの構築・整備にあっている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備されたBYODの環境を活用することと、令和5年度入学生から始まる1人1台端末がある状況への校内体制づくり。</li> <li>家庭学習や主体的な学習を促す教科指導や進路指導。</li> <li>学年や教科が連携した検定試験に取り組みやすい日程調整や、補習実施のための教員の業務調整。</li> <li>観点別評価に係る評価基準の公開を生徒に適切に行い、学習活動への見通しを持たせること。</li> </ul>	○学びの質の向上	<p>①基礎学力不足の生徒に対する補習や課題の適切な実施。</p> <p>②特別な配慮を必要とする生徒への積極的な声掛けによる基本的学習習慣の確立。</p> <p>③定期考査に向けた家庭学習の習慣化。</p>	<p>①②学習内容を理解できる生徒が増えたか。</p> <p>③アンケート結果に生徒の学習習慣の確立が見られるか。</p>	<p>全体としてはほぼ達成できている。</p> <p>①アンケートに回答した生徒の86.9%、保護者の82.5%が「学習内容が理解できるようになってきた」ことに肯定的に回答している。</p> <p>③「学習習慣の定着」に否定的であった保護者が40.8%、教員が46.6%にのぼる一方、定期考査前に学校に残って勉強する生徒もみられた。</p>	A	<p>○全体的には学習環境、学習態度ともに良好であるが、ごく一部の生徒に学習意欲の面での不足が認められる。</p> <p>引き続き、基礎、基本の習得に、粘り強く取り組ませていく。</p> <p>○学期終了後の欠点保有者を対象とした補習については、指導の明確化により前年度よりも徹底することができている。次年度は、欠点を取らないようするための事前指導に、より重点を置く。</p> <p>○学年や教科が連携し、検定試験に取り組みやすい日程調整との連携に協力していく。</p>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っている。ほとんどの生徒は基本的生活習慣が身につけている。</li> <li>きめ細やかな進路指導により、希望する分野に進路を決める生徒が多いが、自己の適性に合った進路を選択するのに時間がかかる生徒もいる。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定の生徒に欠席や遅刻が多い状況がある。</li> <li>日常生活を送る上での規範意識について、共通認識を持って生徒と関わっていくための、学校と家庭との協力。</li> <li>課外活動へ参加する意識の向上。</li> <li>進学や就職についての自己適性を理解させ、進路意識を高めていくための、進路指導の実施。</li> </ul>	○基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	<p>①家庭との連絡を密にするとともに、教員間での情報共有と共通理解に基づく指導。</p> <p>②挨拶の励行と言葉遣いの日常的指導の実践。</p> <p>③行事を通して主体的に人間関係を深めていく機会の提供。</p> <p>④SC・SSWの活用。</p> <p>⑤生徒会活動や部活動の中での、生徒自身の発表機会や、仲間を取りまとめる場面の設定。</p>	<p>①欠席、遅刻、早退数は減少したか。</p> <p>②日常生活の中で積極的に挨拶をし、良好な人間関係を作れているか。</p> <p>③④⑤人間関係を構築するスキルを身につけることができているか。アンケート結果に生徒の自己肯定感の向上がみられるか。</p>	<p>全体としては概ね達成できている。</p> <p>①風邪症状による登校自粛等、欠席の増減傾向は判然としないものの、生徒の72.5%は「欠席・遅刻をしないで登校している」と回答している。</p> <p>②挨拶をする習慣はほとんどの生徒が身につけている。77.2%の保護者が「基本的生活習慣を身に付けている」と回答している。</p> <p>③④⑤回答した生徒の75.8%が「意欲的に学習に取り組むようになってきた」としている。また「部活動に積極的に参加している」としている生徒も71.3%おり、自己肯定感の向上や人間関係の構築が認められる。教育相談推進委員会の活動成果として、71.3%の生徒、74.6%の保護者が「学校の支援体制は充実している」と回答している。</p>	B	<p>○特定の生徒に欠席や遅刻が多い状況にあり、内面的な問題を抱えている場合が多い。必要に応じて地域自治体等と連携し、充実したサポート体制を構築していく。</p> <p>○部活動に精力的に参加できている者については、引き続き継続して取り組み、最後までやり通すように声掛けをおこなっていく。</p> <p>○現1学年では、『9限目の教室』の探究活動を通して、進路選択につなげていく。同時に、地域との連携を強め、生徒の進路選択の幅を広げていく。</p> <p>○自己の適性を理解し、進学先や就職先の情報を自主的に収集・分析できる能力を身に付けさせる必要がある。学年、進路指導部、JSTが連携し、また保護者の理解と協力を得ながら、主体的な進路選択の支援をしていく。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度は学校行事(体育祭、文化祭)の動画を公開し、学校の様子を知らせる等、HPを随時更新し教育活動を発信することができた。</li> <li>渉外部を通し、PTAとは適宜情報交換することができている。</li> <li>創立50周年記念事業については、記念誌を作成した(2月下旬納品)。</li> <li>募集人員確保は厳しい状況が継続している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員が分担して学校の様子を発信し続けるための、動画作成、ICT活用技術の習得。</li> <li>中学生並びに保護者への広報活動として、生徒の作品を展示・活用してもらえる施設との連携。</li> <li>学校行事でのふれあいや作品展示などによる保護者・地域との連携。</li> <li>創立50周年記念式典の実施。</li> <li>募集人員の確保。</li> </ul>	○教育活動の積極的な情報発信	<p>①学校の教育活動に関するHPの更新。</p> <p>②学校行事への関心を高めるための、PTA会員への連絡、情報発信。</p> <p>③生徒及び保護者が参加できる地域行事についての情報収集。</p> <p>④創立50周年記念式典の実施。</p>	<p>①随時更新できたか。</p> <p>②③PTA会員や地域に理解・協力を得ることができたか。</p> <p>④実行委員会や事務局が連携し、実施することができたか。</p>	<p>全体としてはほぼ達成できている。</p> <p>①HPにトビックス欄を新設した。回答した生徒の78.2%、保護者の85.9%が「学校からの配布物、HP、メール配信による情報発信は役に立っている」と回答している。また、出欠・遅刻連絡についてHPに入力フォームを設け、現在試行期間中である。</p> <p>②③1学年総探の取材が埼玉新聞や地元ケーブルテレビ等から多数あった。また、越生町観光協会と連携し、駅構内での作品展示や階段装飾の計画を進めた。「越生高校は地域から理解されていると思う」と80.7%の生徒、86.4%の保護者が回答している。</p> <p>④感染対策を行いながら、実行委員会を中心に後援会、学校が連携して、式典を実施することができた。</p>	A	<p>○1学年や美術科の活動を中心に広報活動の推進は図れたが、HP等による情報発信がまだ不十分である。更新頻度と早期掲載を意識し、誌面の充実を図る。</p> <p>○地域自治体等との連携は推進できたが、次年度は地域の中学校・大学との交流事業等を検討していく必要がある。</p> <p>○学校説明会は、コロナ禍にあって、リモート形式や学科毎に時程を変える等の工夫を行ったが、次年度は同様の回数を維持しつつも内容の改善と告知の早期掲載に努め、募集人員の確保を実現する。</p>
		○学習環境の整備と学習意欲の向上	<p>①チャイム着席など学習ルールの明確化。</p> <p>②期限内の課題提出を積み重ねさせるための声掛け。</p> <p>③英語検定、漢字検定など、資格試験の奨励。</p>	<p>①落ち着いた学習環境で授業に取り組めたか。</p> <p>②課題の未提出や提出遅れがないか。</p> <p>③検定試験に取り組む生徒の割合が増加したか。</p>	<p>全体としてはほぼ達成できている。</p> <p>①アンケートに回答した生徒の93.5%、保護者の95.1%、教員の96.7%が「ルールを守って授業を受けている」ことに肯定的に回答している。一方、課題の提出遅れが改善されない生徒も若干名おり、家庭での「学習習慣の定着」にまでは至っていない。</p> <p>③「資格試験にチャレンジしている」と回答した生徒は22.8%となり、前年度比で6.4%増加した。</p>	A	
		○進路意識の向上と進路実現	<p>①進路希望の把握や支援のための個人面談の実施。</p> <p>②保護者や関係機関との連携。</p> <p>③進路ガイダンスや適性検査等、進路行事の計画的な実施。</p> <p>④JSTの活用。</p>	<p>①②自己理解を深め、自らの将来像をイメージさせる機会を与えることができたか。</p> <p>③④自身の進路について具体的に考えられたことが、アンケート結果に表れているか。</p>	<p>全体としてはほぼ達成できている。</p> <p>①②1学年ではSPI入門テスト・性格検査、2学年ではSPI基礎テスト・職業適性検査、3学年ではSPI基礎テストを実施し、個人面談等の資料として活用した。関係各所の協力を得ることで、各種講座、ガイダンス、セミナーの充実した開催を実現できている。</p> <p>③④回答した生徒の87.2%が「卒業後の進路について考えている」、保護者の87.4%が「(子どもと)卒業後の進路について話すことがある」と回答している。また、86.9%の生徒、85.9%の保護者が「進路指導体制は充実している」と考えている。JST事業により、本校の進路指導が充実したものとなっている。</p>	A	
		○募集人員の確保	<p>①HP上での、本校の教育活動についての公開と情報発信。</p> <p>②学校説明会の計画的な実施と、外部の説明会への積極的な参加。</p>	<p>①HPの更新頻度を維持することができたか。</p> <p>②学校説明会を計画的に実施できたか。</p>	<p>全体としては概ね達成できている。</p> <p>①1学年『9限目の教室』の実施内容をはじめとして、学年行事や学校行事等、生徒の取り組みの様子をその都度HPに掲載することができた。</p> <p>②5回の学校説明会、3回の進学フェア参加、夏の部活動体験を計画、実施した。</p>	B	

学校関係者評価	実施日 令和5年2月3日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・アンケート結果を見ると、全般的に好意的な評価を受けているのだと思います。(生徒・保護者が好意的な評価をしているのであればこそ)先生方の努力を引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>・私は、「もう一度勉強をやり(直し)たい」と思って越生高校を選びました。</p> <p>・私は漫画家になりたいと思い美術科に入りました。でも、進級制作で油絵を選んだ理由は、漫画の道を選ぶにせよ、広く学んだ上で進むべきだと思うようになったからです。</p> <p>・私は(放課後の部活は)もっと長い時間、制作に取り組んでいられると思っていたので、実際には限られた時間の中でしか活動ができないというのが残念です。</p> <p>・(コロナ禍で仕方なかったのですが、生徒の皆さんの)「行事やってやろう」みたいな気持ちはいかなかったのでしょうか。</p> <p>・私は、やはり「高校の文化祭」が思っていたのとは違っていたので残念でした。食品販売のようなものができるのをイメージしていました。</p> <p>・大規模にできなかった、というのはいや残念でした。人数が制限された体育祭や文化祭、それでもやらせてもらっただけ良かったと思う。来年は文化祭の規模を拡大できたら(いいな)と思っています。</p> <p>・たくさんの人に見てもらえると、やはり生徒さんたちのやる気、モチベーションが上がると思います。コロナが収束して以前のような行事ができるようになるとういことだと思います。</p>	
<p>・自身が将来就きたい職業を意識したのは、高2の時だった。そう思うと高校生活3年間の意味は大きかったと思う。アンケート結果を見ると、「～なってきた」「～なってきた」といった回答の比率が高い。これは、中学から高校で(越生高校の生徒さんたちには)それだけ伸びしろがあるということの意味しているのだと思う。</p> <p>・(生徒さんたちの)作品を見せてもらったが、どれも「根気がある作品だ」と思いました。将来はどうしたいのか、オープンキャンパスに行ったりしているのか、(生徒さんたちの進路意識について)知りたいと思いました。</p> <p>・自分は1年生の3学期ごろから木工の道に進みたいと思うようになり、「ものづくりで人を喜ばせたい」と思うようになりました。越生町にも工房があるので、行ってみたいと思うようになりました。</p> <p>・私は「油絵をやりたい」という思いだけがあります。今は(まだそこまでなので)、どの大学に行けばよいのかを悩んでいます。</p> <p>・私は今はもう、就きたい職業も決まっております、進学先も2校に絞って検討しています。</p>	
<p>・(先生がデザインを担当されたという)越生10名山の看板表示を見させてもらいました。ハイカーの皆さんの気持ちも、きっと豊かなものだと思います。生徒さんたちの制作意欲は、先生方のご指導の賜物だと思います。今後もよろしく願いいたします。</p> <p>・越生町は「町全体が博物館」でありたいと考えています。そんな中で越生高校との連携は、本当にありがたい。感謝とお礼を述べたいと思う。生徒さんたちの作品を見ると、制作者の心が表れていると思う。それを町との連携の中で、伝えていけたら素晴らしい。</p> <p>・募集人員の減少については、偏差値ばかりが先行してしまっているのではないかと(学校が荒れているんじゃないかな)と思う。そうではない、ということ、この学校の良さをアピールできたなら人数は確保できると思う。実は活気があることも、少人数で手厚い指導が受けられることも、(これまではコロナでHPしか手段がなかったが)今後は学校見学等、実際に見てもらおう機会が作れば(越生高校の)良さを伝えられると思う。</p>	